6月 二中図書室便り

秩父市立秩父第二中学校
令和８年　６月号



梅雨入りが発表され、雨がちな季節になりました。気温が不安定になり、体調を崩しやすいので十分注意してすごしましょう。さて、みなさんは「晴耕雨読」という言葉をご存知ですか？その意味は字のごとく「晴れた日には外で田畑を耕し、雨の日は書を読むこと」という意味で、人にとって理想的な生活だと伝えています。中学生のみなさんは忙しい毎日をおくっていると思いますので、雨の日には休息もかねて、ぜひ読書をしてみてください。心にゆとりができ、気分も晴れ晴れとしますよ。

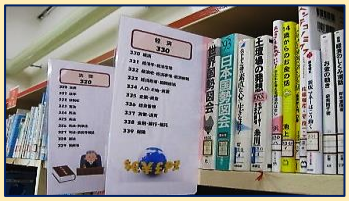
日本十進分類法（NDC）を知って 図書室の達人になろう!

図書室の本には「住所」があります。
どの本にも背にラベルが貼られています。これは、本の所在を表す大切なラベルで、主に**日本十進分類法（NDC）**というきまりを使って、分類番号を決めています。
日本十進分類法（NDC）では、すべての本を、本の内容によって、0から9の数字を使い、10の大きなテーマにグループ分けをしています。これをおぼえておくと、自分の読みたい内容の本がどこにあるのかわかり、すぐ見つけることができ

分類	本の種類
0	総記
1	哲学・宗教
2	歴史・地理・伝記
3	社会科学
4	自然科学
5	技術・工学・家庭
6	産業・交通・通信
7	芸術・スポーツ
8	言語
9	文学

※３ケタの日本十進分類表は図書室外に掲示してあります。





本棚の上には分類パネルが置いてあるよ。まずは、読みたい本の内容にあてはまる分類の本棚を見つけよう。



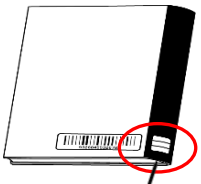
本棚には、NDCを3ケタの数字でさらにこまかくグループ分けした見出しがあるよ。これを参考にして、読みたい本を探してみよう。



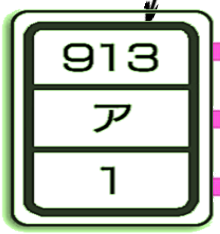


NDCを活用すると、調べ学習がとても楽になります。すぐに活用してみましょう。どこの図書館でも分類方法は基本的に同じなので、NDCをおぼえておいて損はないですよ。

ラベル記号のしくみ







分類記号（ぶんるいきごう）
本の内容を数字であらわしたものです。

図書記号（としょきごう）
本の著者（ちょしゃ）か書名の頭文字がついています。

巻冊記号（かんさつきごう）
百科事典やシリーズなど、いくつもの巻（かん）にも分かれている本の何巻目かをあらわす数字です。

読書感想文のミカタ！ この本読んでみて！



「めんどくさがりなきみのための文章教室」
はやみねかおる：著／飛鳥新社

「カンタン！ 齋藤孝の最高の読書感想文」
齋藤孝：著／KADOKAWA



読むこと、書くこと、自分を知ること。

第71回 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社　後援／文部科学省・こども家庭庁　協賛／サントリーホールディングス株式会社

課題図書



今年度の課題図書が決まりました。
夏休みに読書感想文を書く予定の人は、今のうちからいろいろな本を読んでみて、この本で読書感想文を書きたい！と思う本を見つけておきましょう。
図書室に課題図書を置く予定です。本の準備ができ次第貸出開始します。本の冊数が少ないため、読み終わったらすぐに返却してください。



「君の火がゆらめいている」
落合由佳：作 / 講談社

葉澄には、自閉症をもつ双子の姉・菜々実がいる。大きくなるにつれ、家族を思う気持ちと自分の気持ちとの板挟みになっていた葉澄は、きょうだい児が集まるという「きょうだい会」に出会い……。もしわたしが、きょうだいと別の道を行きたいと言ったら、どうなるんだろう。



「チーム・テスならだいじょうぶ」
カービー・ラーソン＆クイン・ワイアット：作　杉田七重：訳/ 鈴木出版

転校してきたテスは、友だち作りが少し苦手。得意の手作りお菓子で友だちを作ることに成功する。テスの焼き菓子コンテスト出場を応援する「チーム・テス」が結成され盛り上がるが、テス自身はひんぱんに襲ってくる腹部の激痛に耐えられなくなって……。



「リュウグウの砂に挑む：チームで小惑 星のサンプルを分析」
伊藤元雄：著/ くもん出版

探査機「はやぶさ２」が小惑星リュウグウから持ち帰った砂は、小惑星が水や有機物を地球に運んできたという仮説のひとつを解く大チャンス。貴重な砂を分析して最強チームが見つけたのは、“生命のゆりかご”だったのです。

読書感想文の基本ポイント

本を選ぶときのポイント

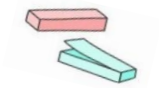
ポイント①　手に取って確かめる!

「これいいな！」と思う本があったら、必ず手に取り、どんな内容が書かれているか確かめましょう。

ポイント②　最後まで読める本を選ぶ!

あなたがおもしろそうと思えるもの、最後まで読める長さのもの、文章が難しすぎないもの、の３点に気をつけて選ぶと良いでしょう。

本を読むときのポイント



読む本を決めたら、感想文を書くときの材料を集めるつもりで、好きな登場人物はだれか、感動した場面はどこか、などを確かめながら読み進めていきましょう。

「ふせん」と「メモ」を活用しよう

「ふせん」は、感動したり、疑問に感じた部分のページにつけておきます。そのとき、どうしてそう思ったのか理由を「メモ」に書きとめておくと、後で感想文が書きやすくなります。



読書感想文を書くステップ

ステップ① 感じたことを書き出す

ふせんやメモにまとめた内容について、なぜその登場人物が好きなのか、その場面やセリフに感動したのかなどについてもう一度考え、考えたことは、メモにつけ足したりします。そのメモの中から、感想文を書くために必要なものを選んでみましょう。

ステップ② 感じたことを整理する

本を読んでいて感じることは、１つではありません。人物について感じたこと、場面に対する感動や疑問点など、きっと様々なはずです。「だれに、または何についてどう感じたのか」を、内容ごとに区切って整理していきましょう。

ステップ③ ３つのまとまりで組み立てる

文章には、読みやすい流れというものがあります。感想文を読みやすい流れで組み立てるために、まずは、「はじめ→なか→終わり」という３つの大きなまとまりを作り、文章を書いてみましょう。

＊参考資料：書きかたがわかるはじめての文章レッスン